

RORO船ターミナルへの集荷状況

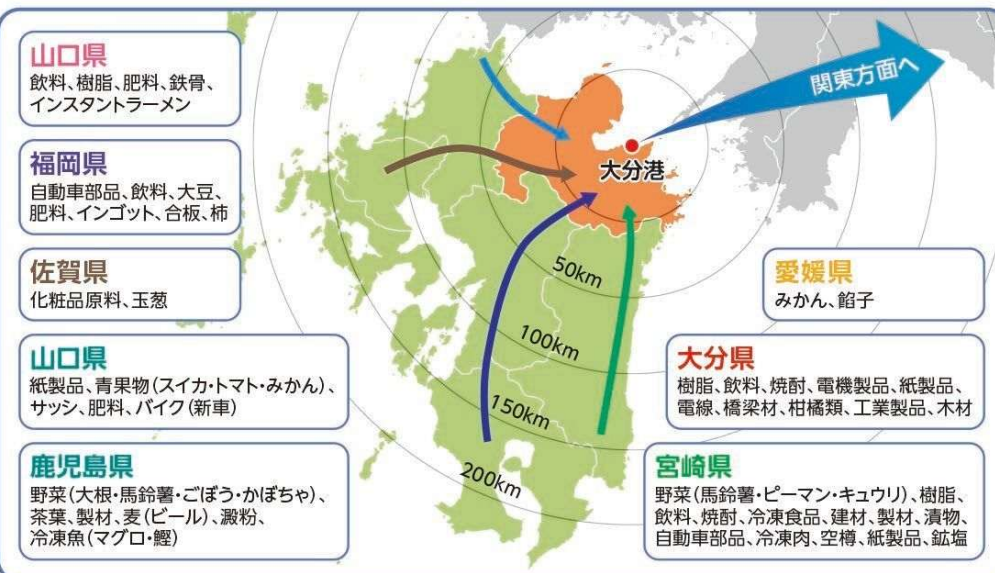
RORO船シャーシ台数



平成28年の東九州自動車道の開通を契機に、大分港発着の取扱シャーシ台数が右肩上がりに増加しています。

現在は、自動車部品、九州各県で生産される野菜、工業製品など、「九州の東の玄関口」として九州全域にわたる多種多様な貨物が取り扱われています。

今後も「中九州横断道路」の整備など、交通ネットワークがさらに進展することで利便性が向上し、大分港のポテンシャルがますます高まることが期待されます。



補助金を活用したモーダルシフト

種 類	補助対象要件	補助額
① 利用転換促進助成	大分県内の港湾を出発するRORO船を新たに利用する荷主又は運送事業者	シャーシ等1台4万円 ※上限12台
② 利用拡大促進助成	大分県内の港湾を出発するRORO船を新たに利用している荷主又は運送事業者のうち、輸送するシャーシ等の台数を増加して利用する者	直近3年間の最大利用年度台数を越えるシャーシ等1台1万円 ※上限12台
③ 貨物集荷促進助成	県外地域を出発地として上記①又は②の助成を受ける者	シャーシ等1台1万円 ※上限12台

※補助対象期間は4月1日から翌年3月31日までを予定としています。

※補助金交付予定額合計が予算額に達した場合は申請の受付を終了します。



お問い合わせ先

助成内容等	大分県土木建築部 港湾課 港湾振興班 〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号	TEL : 097-506-4617 FAX : 097-506-1776 E-mail : oita-roro@pref.oita.jp
料金サービス等	川崎近海汽船(株) 大分支店 (株)商船三井さんふらわあ 大分支店 日本通運(株) 大分支店 大分海運事業所	TEL : 050-3821-1540 FAX : 097-592-9227 TEL : 097-535-1001 FAX : 097-537-7260 TEL : 097-524-2381 FAX : 097-524-2717

大分港大在西地区 RORO船ターミナル

運ぶカタチを変えれば、働き方が変わる
選ぶのは、地球にやさしい運び方



大分港からの定期航路



船 社 名	航 路	便 数	運 航 ダ イ ヤ		
				発 時 間	着 時 間
川崎近海汽船(株)	① 大分-清水	週3便 (火・木・土)	大分-清水	22時30分	翌日 18時30分
(株)商船三井さんふらわあ 日本通運(株)	② 大分-東京-博多	週3便 (日・水・金)	大分-東京	6時00分	翌日 5時50分

(注) 航路②は他港にも寄港します。詳細は船社HPでご確認ください。

輸送イメージ



大分県土木建築部港湾課

大分港大在地区・大在西地区位置図



大分港は、西大分地区から大在地区まで広範囲に及んでおり、大在地区・大在西地区は大分市の東側に位置しています。

最寄りのICから8Km、約12分の場所という交通アクセスに優れた場所にあり、その途中には大分流通業務団地が整備されています。



大分港までの交通アクセス



大分港は「九州の東の玄関口」と称され、東九州自動車道や大分自動車道など九州全土を結ぶ高速交通網の基点となっています。

現在、大分県と熊本県を結ぶ高規格道路として「中九州横断道路」が整備されており、新たな物流網として期待される道路になります。

大分県側の「犬飼IC～竹田IC」までの区間は完成しています。

左図中央の「滝室坂」の区間については令和8年度に開通予定となっています。

将来的には、大分港大在地区最寄りの大分宮河内IC(上図参照)まで直結する予定です。

中九州横断道路の全線開通による時間短縮効果

大分市内 ↔ 熊本市内
所要時間 約3時間30分 → 約2時間30分



RORO 船ターミナルのスペック

大分港のRORO船ターミナルは、岸壁の背後地に広大なヤードを整備しており、短時間での荷役作業が可能です。また、今後は小口貨物の積替スペースなどを整備する予定で、さらなる輸送効率化が図られます。



ターミナルの概要

敷地面積	
メインヤード	12.2ha
バックヤード	1.8ha
未整備地	7.0ha
岸壁	
長さ	240m
水深	-9m
駐車可能台数	
メインヤード	938台
バックヤード	124台

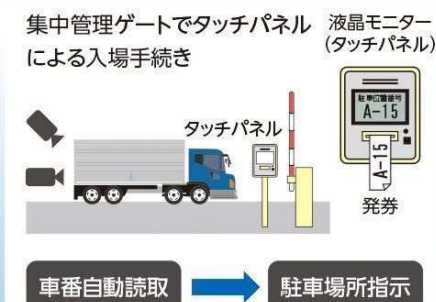
未整備(岸壁)
港湾計画では第2バースを整備予定

未整備用地①
港第2バース整備に合わせてヤードを増設予定

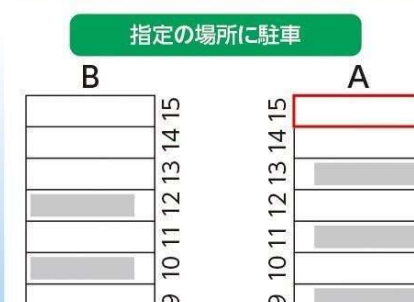
未整備用地②
小口貨物の積替スペースなどを整備する予定

DX技術を活用した無人ゲート

搬入時ゲート処理



搬入車両を駐車



乗船作業

